

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第1号
令和2年4月吉日発行
文責：渡邊 里
小宮山麻子

本校の校門脇のふじざくらも満開となり、穏やかな陽気を感じる季節となりました。新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ心配されますが、新年度を迎え、新しい環境での生活が始まりました。関係機関の皆様におかれましても、新年度が始まり準備などで慌ただしい日々を過ごされていることと思います。

さて、ふじざくら支援学校では、今年度も地域に在住する特別な支援を必要とする子どもたちのために、様々な支援活動を行っていきます。実態把握の手立てや合理的配慮など、皆様のお役に立つ情報も提供していきたいと思っておりますので、遠慮なく御相談ください。

校長挨拶

山梨県立ふじざくら支援学校校長の望月 公（もちづき こう）と申します。よろしくお願ひいたします。

本校は、富士北麓・東部地域に在住する肢体不自由、知的障害、そして重複障害のある児童生徒のために、本県初の知肢併置の特別支援学校として平成8年に開校し、本年度は創立25年目になります。小学部39名、中学部17名、高等部47名、計103名の児童生徒が在籍しています。本校では、教育目標に掲げている「自立をめざし、社会の中で豊かにたくましく生きていく力を育てる」ために、教職員が力を結集し「チームふじざくら」として一丸となり、一人一人の児童生徒の自立と社会参加の実現を目指した教育活動を行います。

さて、このところ全国的に特別支援教育へのニーズが高まっています。本県における近年の状況を見ても、小・中学校の特別支援学級の在籍者数や通級による指導の利用者数が激増しています。また、小・中学校及び高等学校の通常の学級において、特別な支援が必要な児童生徒が多数在籍していることも明らかになっています。

障害のある子どもとない子どもが共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築が推進されている中、特別支援学校だけではなく全ての学びの場において、特別支援教育に係る専門的な指導・支援が求められています。

本校では、これまでも関係機関等と連携して特別支援教育に係る地域のセンター的役割を果たすよう務めてきたところです。本校の教育実践において蓄積された専門的な指導・支援のノウハウ等を地域の特別な支援が必要な幼児児童生徒に生かしていただくよう、今後も関係機関と連携しながらセンター的機能の充実に取り組んで参りたいと考えています。

本年度も、何卒よろしくお願ひいたします。

令和2年4月 山梨県立ふじざくら支援学校
校長 望月 公

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、現在「訪問支援」は実施しておりません。また、令和2年6月11日（木）に予定しておりましたオープンスクールは中止となります。

今後、諸般の情勢経過を勘案し、「教育相談・訪問支援等」を行っていきたいと考えています。詳しいことが決まりましたらHP等を利用し、お伝えしていきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



今年度のコーディネーター

いししい
石井めぐみ

やまもと しおり
山本 志織

こみやま あさこ
小宮山 麻子

ふるや ともこ
古屋 智子

教育相談や訪問支援、授業体験などを担当いたします。詳しい支援内容につきましては、同封のリーフレットを御覧ください。日々の関係作りを基盤に、実態把握を丁寧かつ適切に行い、子どもたち一人一人にとってより良い支援ができますように、共に考えさせていただければと思います。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

○訪問支援等のできる主な曜日・・・ 月・火・木曜日

○本校の地域支援部や専門機関への支援の依頼につきましては、校内委員会で充分検討した上で御利用いただくことをお願ひします。

○コーディネーターの派遣を依頼される方は、まず電話で御相談ください。訪問の日時が決まりましたら、本校HPより「派遣依頼文書」の書式をダウンロードし、本校まで送付してください。

『訪問支援』の要請の手順

- ①校内委員会で検討
- ②電話にて訪問日時の予約
- ③派遣依頼文書の作成（本校HPよりダウンロードできます。）
- ④本校へ派遣依頼文書の原本を提出
市町村教育委員会と富士東部教育事務所へ派遣依頼文書の写しを提出
- ⑤訪問支援の実施
- ⑥市町村教育委員会への報告



お気軽にお問い合わせください

山梨県立ふじざくら支援学校 地域支援部 担当：石井（主任）山本 小宮山 古屋

〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

TEL 0555-72-5161 FAX 0555-72-5164

E-mail chiiki@fujizaky.kai.ed.jp <http://www.fujizaky.kai.ed.jp>